

今月のトピック

遮光剤と遮熱剤の使い方

3月、4月は三寒四温の季節となり、管理が難しくなります。晴天日には日射はどんどん強くなるので、萎れに注意してください。

直射日光による温度の上昇

この時期は、晴天日には日差しが非常に強く、光合成には最適な環境となります。しかし、栽培も後半に差し掛かり、樹勢の維持が求められる中で、日単位で気候が変動し、曇天（光合成量低下！）と晴天（ハウス内気温が急上昇！）が繰り返されることで萎れやすくなります。萎れてしまうと光合成どころではありません。以下のような対策を取りましょう。

● 遮光カーテンの有効利用

- ☑曇雨天日と晴天日の蒸散量に大きな差ができることで萎れが発生します。蒸散量の日格差を少なくするため、曇雨天後の晴天日は、必ず遮光カーテンで予防します。
- ☑晴天日には、光合成に必要な光は十分にあります。強すぎる光は植物体温を上昇させるため、最大瞬間日射量の上限值は、トマトの場合800~900W/m²、イチゴの場合500W/m²を目安に遮光をしましょう。



● 遮光剤・遮熱剤の使用

ハウス内の昇温対策として、梅雨明け後に「遮光剤」や「遮熱剤」を活用される方が増えてきました。今からの時期も萎れ対策として遮光剤、遮熱剤は効果的です。特に、これから梅雨入り前までの対策には「遮熱剤」がおすすめ。遮熱剤の効果を長期間得たい場合は、3~4月に1回目を塗布し6~7月まで。6~7月に2回目の重ね塗りができると、8~9月までの持続となり高温期を長期間カバーできます。

● 遮光カーテンと遮光剤、遮熱剤の併用利用

遮光剤・遮熱剤と遮光カーテンを有効利用すると暑さ対策や萎れ対策として管理の幅が広がります。とくに遮熱剤と遮光カーテンは相性が良くおすすめです。

レディヒート (遮熱剤) 15kg入り 2~3缶/10a	 持続期間およそ4~5ヶ月	トランスパー (遮熱剤) 15kg入り 2~3缶/10a	 持続期間およそ5~7ヶ月
レディソル (遮光剤) 20kg入り 1~2缶/10a	 持続期間およそ2~3ヶ月	エクリプスF4 (遮光剤) 20kg入り 1~2缶/10a	 持続期間およそ2~4ヶ月

※効果の持続期間は希釈倍率や天候の影響を変化します。記載した期間より短くなることもあります。

※重ね塗りする場合は同じ遮光剤（遮熱剤）を使用してください。

（レディヒート、レディソルの重ね塗りは可能です）